

四旬節第6週（受難週） 第二礼拝

2019年4月14日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(都合により休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『イザヤ書』53章4-6節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌18「おお御神をほめまつれ」	一同	
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	一同	
代表祈禱		司会者	
役員就任式	(伊東一馬兄、片山健司兄、笹川清子姉)		
CS教師任命式	(伊東一馬兄、片山初子姉、片山麻美姉、佐藤繁実兄)	近伸之牧師	
子ども進級式	新聖歌474「主がわたしの手を」		
聖書朗読	『ルカの福音書』23章32-49節(新約167頁)	司会者	
黙想		一同	
説教	「パラダイスはどこにある」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌268「御国の心地す」	一同	
感謝の献金	(新聖歌58)	一同	
感謝祈禱		森田澄子姉	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	一同	
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同	
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

第一礼拝	司会：近伸之牧師	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山勝三兄 会：小林洋子姉 会：小山千春姉	音響・映像：山崎敬典兄 説教の録画：近伸之牧師	CS担当：近伸之牧師 ※掃除当番は右表参照

説教メモ

- 「パラダイス」は聖書に3回だけ出てくる言葉(ルカ23:43、第2コリ12:4、黙2:7)。それは「天国」という死後の世界ではなく、信じた者たちの上にたちどころに生まれる、新しいのちの誕生、人の革新を表す。
- 十字架刑が「史上最悪の刑罰」と言われるのは、それが死に匹敵する苦痛を数日間与えることに特化したものだから。「きょう」、かの犯罪人がいるパラダイスは、死後の世界ではなく、十字架という現実の上。
- 人生がどんなに苦痛に満ちたものであっても、キリストを信じる者のそばには主イエスがおり、十字架の上にさえ平安がある。しかしイエスにとって十字架は、父なる神にのろわれることであり、死よりも苦しいことだった。イエスへの打ち傷により私たちはいやされ、その身代わりにより救われた。感謝して歩いていこう。

今週の暗唱聖句

「父よ、彼らをお赦しください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです」
(『ルカの福音書』23章34節)

[敬和学園の学生用] 牧師のサイン欄 ()

個人、団体からの来信

2019年4月14日

PBAよりDVD(3月放送分)/日本FEBC/
「新潟朝禱会通信」第191号/「オリーブの会」vol.1/
【教団より訃報】引退教師、斎藤良子先生が4月8日の晩に召天されました。

先週の集会出席者数

4/7(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-		
		幼児女子1 小学女子3 中学女子- 高校女子- 女児計4 成人女性1		
	第一礼拝	男3 女3	※月に一回、書道教室を開催	
	聖餐礼拝(子ども)	男13 女20 男2 女児5	4/8(月) 月曜家庭集会 男1 女4 4/10(水) ネヘミヤ祈禱会 男5(求1) 女5	
	夕拝	男1 女1	4/12(金) しゃべり場タピタ 男- 女4 4/12(金) 金曜祈禱会 男- 女4	

諸集会のご案内

書道教室	※月に一回、書道教室を開催	
月曜家庭集会		(休会)
救禱会	4/17(水)午後7:30	『詩篇』140篇 司会：横堀 正美兄
しゃべり場タピタ	今週は4/18(木)午後1:30より開催します	問合せ先：小山 千春姉
金曜祈禱会	4/19(金)午後8:00	教会堂 4月は茶道準備もします

4/21(日)復活節第1週(イースター)

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山初子姉		
特別礼拝 午前10:30	司会：片山健司兄 集会：小山千春姉 笹川清子姉	映像・賛美：賛美チーム 説教の録音：片山勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：山崎敬典兄 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	4/7[近牧師] 4/14[佐藤兄] 4/21[片山姉] 4/28[近牧師]		
掃除当番順	4/7[猪爪姉] 4/14[初子姉] 4/21[小林姉] 4/28[小山姉]		
主日の予定	召天者記念礼拝	午後2:00～ 太夫浜霊園	
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教	礼拝箇所 『マルコの福音書』16章1-8節	

報告

- 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。本日は受難週の礼拝を持ちました。十字架に向かわれたイエス・キリストの思いを心に刻みつけましょう。この後は第3部として愛餐(昼食)をいただきます。どうぞご参加ください。
- 各行事について
本日14:00から長岡福音キリスト教会において献堂式が持たれます。また16:00より新潟ランチョンの聖歌隊練習が持たれます。それぞれが祝福されますように祈りましょう。また、今月末に新潟聖書学園にてバザーおよび茶室、来月には新潟ランチョンが予定されています。各案内を掲示していますので予定に入れてご参加ください。
- 先週の来会者
4月7日(日)聖餐礼拝に中山真希姉、中山優香さんが出席されました。優香さんは前週から出席しておられます。新潟での歩みが祝福されますように祈りましょう。
-

母親をととても憎み、うらんでいたあるひとりの受刑者の話を読んだことがあります。その母親は、彼を実家にあずけたまま再婚してしまったのです。彼は、長年、「俺の母親は、俺を捨てて再婚するような冷たい女だ。」と悪いことをしていました。ところが、刑務所の独房の中で、そういったいろいろなことを考えているうちに、ふと、こんなことを思い出したそうです。

小学校四年の頃、再婚先の母親を訪ねたことがありました。母親は、新しい夫に、「太郎が来たからお金をやるよ」とコイン一枚を夫に見せ、承諾を取ってから彼にくれたそうです。帰り道、よくよくコインを見ると、一枚だと思っていたコインがそうではなく、二枚だったのです。コインはご飯粒でくっついてあり、はがそうと思ってもガチガチにくっついていました。彼は、田んぼの水にコインをつけてはがしたのです。こんなことを思い出しているうちに、涙が出て来ました。「俺を捨てて再婚したと思ったけれど、いつも心の中で俺のことを思い、俺が来るのを待っていてくれたのだ。飯粒がガチガチになっているのを思うと、相当前から待っていてくれたのだ。新しい夫に気兼ねしながらも、こっそり二枚もくれた。母は優しい人なんだ!」

彼の考えは急変しました。そして、この時から彼にとって「生きる」ということが始ま

りました。人は誰でも真実の愛に触れるとき、作り変えられます。真実な本気の愛に触れるとき、人は生きることを真剣に始めるのです。

一般的に、キリスト教は十字架の宗教だ、十字架で死んだキリストを拝んでいる、と考えられています。また、三日目によみがえられたなどと迷信を信じているとも思われています。しかし、これはちょうど、あの受刑者が母親を理解しなかったのと同じようなものです。聖書はこれを「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちに、神の力です。」(コリント第一1・18)と言っています。キリストの、十字架上の苦しみと死は、じつは、神が私たちに下すさばきと、のろいと、滅びとの身代わりの死だったのです。

「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ3・10)とあるように、神の前には、すべての人が罪人です。人間は、神の祝福から遠ざけられ、やがてさばかれ、滅びに向かうべき存在なのです。しかし、神の愛は、キリストに身代わりのさばきと滅びを引き受けさせたのです。私たちはそれを理解せず、神を拒み、十字架に死んだキリストを軽視してはいませんか。

しかし、この十字架の事実を神の真実の愛と受け止めるとき、その人の中に神の愛が豊かに注がれます。その人は、新しいいのちに力強くいきることができるのです。



フリッツ・フォン・ウーデ「子どもたちを我に来させよ」(1884)
Lasset die Kinder zu mir kommen



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



4/20(土)イースター特番
「復活の勝利に生かされて」 岩井基雄牧師

キリストの復活を記念してお祝いするイースター(復活祭)。今回は、番組のバイブルコーナーを担当する岩井基雄牧師が、自身が牧会するキリスト教会で語ったイースターメッセージ「復活の勝利に生かされて」をお届けします。また、教会の聖歌隊による賛美歌もお楽しみください。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

